



VF-8C/13C形真空遮断器点検のお願い

まずまずご隆儀のこととお慶び申し上げます。  
電機品に対し、格別のご愛顧を賜り有難く厚く御礼申し上げます。  
記真空遮断器に関しましては、一部のお客様でトリップラッチの傷による投入不具合が時期生産しました製品の点検を進めてまいりました。その後、更に原因の追跡調査をし、傷の発生は非常に少ないことが判明致しました。  
内での再現試験結果からも、市場において今後発生する可能性は極めて少ないと考察し。しかし乍ら、トリップラッチは遮断器の重要な部品であるとの認識から、同時期生産品につきましては、定期点検等の機会を捉えまして弊社による点検を実施し、万全を期します。  
では、ご多忙中誠に恐縮ではありますが、何卒事情ご賢察戴きまして、ご協力を宜しく申し上げます。

敬具

記

種

期間：1995年5月7日～1995年7月31日までの生産分

名：VF-8□□-C, VF-13□□-C

番号：5E○○○○(5月生産), 5F○○○○(6月生産), 5G○○○○(7月生産)

上記製造期間品の中には、一部非対象品も含まれており、弊社にて確認致しますので製造番号の連絡をお願い致します。

れる事象

1) トリップラッチに傷のあるものは、投入・即遮断となる場合があります。

2) 事象は、投入操作時に発生する可能性があるもので、現在投入状態で運転されているものは、不要トリップの心配はございません。

への対応

1) 製品につきましては、トリップラッチの点検を実施させて戴きます。

2) トリップラッチに傷のあるものは、当該部品の交換を実施させて戴きます。

参考：既に報告されている他の問題VCB

・三菱 VF-8/13形 対策 スプレーグリスをかん部  
担当 <sup>まろがめ</sup>丸龜製作所 開閉器品管課 TEL 0877  
24-8047

## VF-8/13形真空遮断器 (VCB) 投入動作不具合時の応急処置要領

VF-8/13形VCBの投入動作ができない事象が発生した場合、その原因として油切れの可能性がります。この場合、下記の処置で投入可能となりますので、万一発生した際はこの要領に従ってください。

### 1. 投入ハンドルのゆっくり操作

投入ハンドルにて、手動でゆっくりとフェースプレートの表示に従って、投入方向へ操作してください。(いくらゆっくりと操作しても主接点の動作速度とは関係なく、問題ありません。)

なお電動タイプの場合は、付属品となっている手動操作ハンドルを差し込み、蓄勢位置から更に投入位置までゆっくりと操作してください。(投入できるまで、数回試みてください。)

### 2. 注 油

上記1の操作でも投入できない場合は、  
 (1) 主回路部の検電 (停電の確認)  
 (2) VCBを開極し、「切」状態を確認  
 (3) 電動タイプの場合、制御電源を切って手動で「入」「切」操作を行い、ばね放勢の確認を行った上、次の要領で注油して下さい。

潤滑油は、  
 弊社指定品：具工業株式会社のグリースメイト  
 No. 1058、または応急的にお手持ちのマシン油をご使用ください。

#### 2-1 Rタイプ

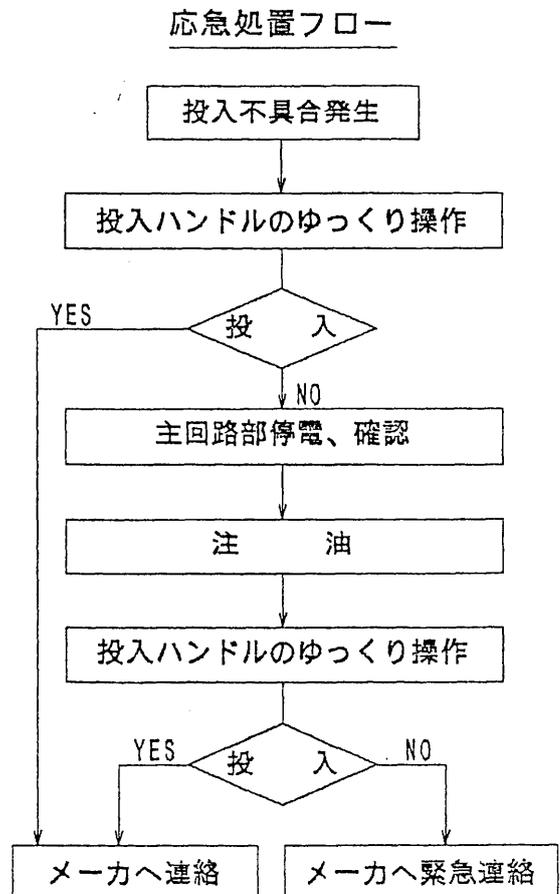
図1の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

#### 2-2 P, N, 引出しタイプ

操作機構カバーを外し、図2の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

### 3. メーカーへの連絡

上記の応急処置を行った場合は、その結果の如何にかかわらず、メーカーへご連絡下さい。



上部カバーを外して **イ** 方向より見た図

VCB “開放状態”

こちらが盤パネル側

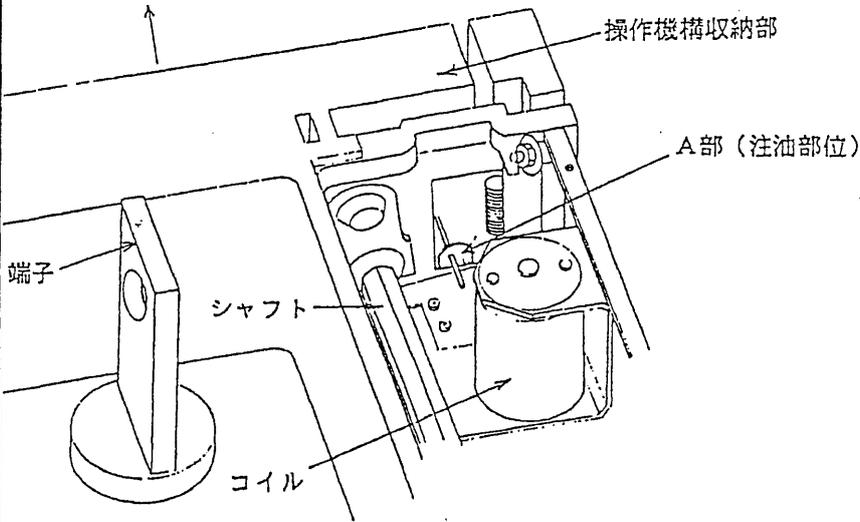
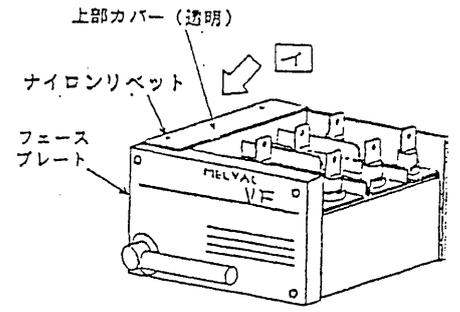


図-1



VF-8/13RH-A形外観

【注油要領】

- (1) 上部カバーの取り外し。
- (1)-1 ナイロンリベット (2ヶ所) を外す。
- (2)-2 上部カバーを外す。
- (2) 操作機構部のA部穴より下方向へ向って注油する。

VCB “開放状態”

※注油箇所

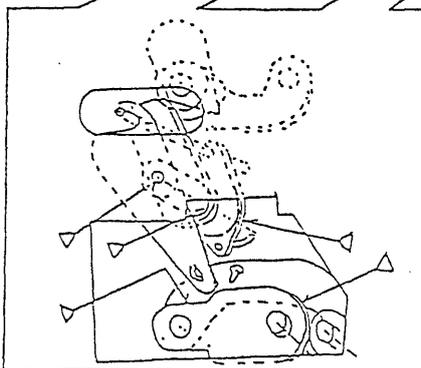
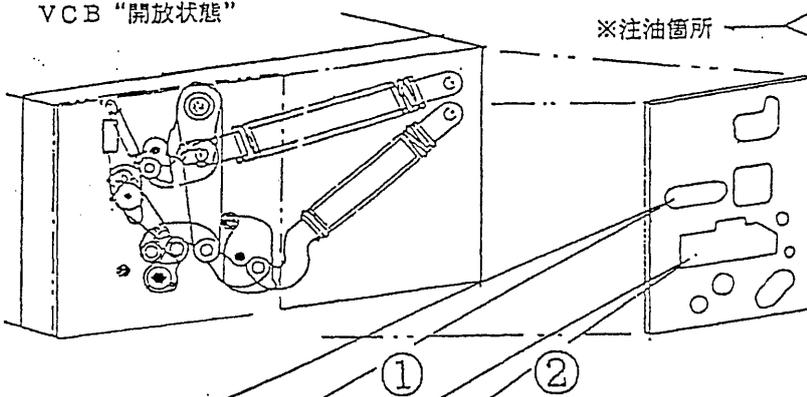
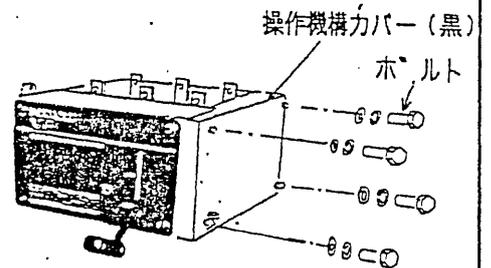


図-2



VF-8/13NH-A形外観

【注油要領】

- (1) 操作機構カバーの取外し。
- (1)-1 ボルトM8 (4ヶ所) を外す。
- (2)-2 操作機構カバーを外す
- (2) 操作機構部の①~②の穴部に注油する。

お客様用

## VF-8/13□H-A形真空遮断器 (VCB) 投入動作不具合時の応急処置要領

VF-8/13A形VCBの投入動作ができない事象が発生した場合、その原因として油切れの可能性がります。この場合、下記の処置で投入可能となりますので、万一発生した際はこの要領に従ってください。

## 1. 投入ハンドルのゆっくり操作

投入ハンドルにて、手動でゆっくりとフェースプレートの表示に従って、投入方向へ操作してください。(いくらゆっくりと操作しても主接点の動作速度とは関係なく、問題ありません。)

なお電動タイプの場合は、付属品となっている手動操作ハンドルを差し込み、蓄勢位置から更に投入位置までゆっくりと操作してください。

(投入できるまで、数回試みてください。)

## 2. 注油

上記1の操作でも投入できない場合は、  
 (1) 主回路部の検電 (停電の確認)  
 (2) VCBを開極し、「切」状態を確認  
 (3) 電動タイプの場合、制御電源を切って手動で「入」「切」操作を行い、ばね放勢の確認を行った上、次の要領で注油して下さい。

潤滑油は、  
 弊社指定品：呉工業株式会社のグリースメイト  
 No. 1058、または応急的にお手持ちのマシン油をご使用ください。

## 2-1 Rタイプ

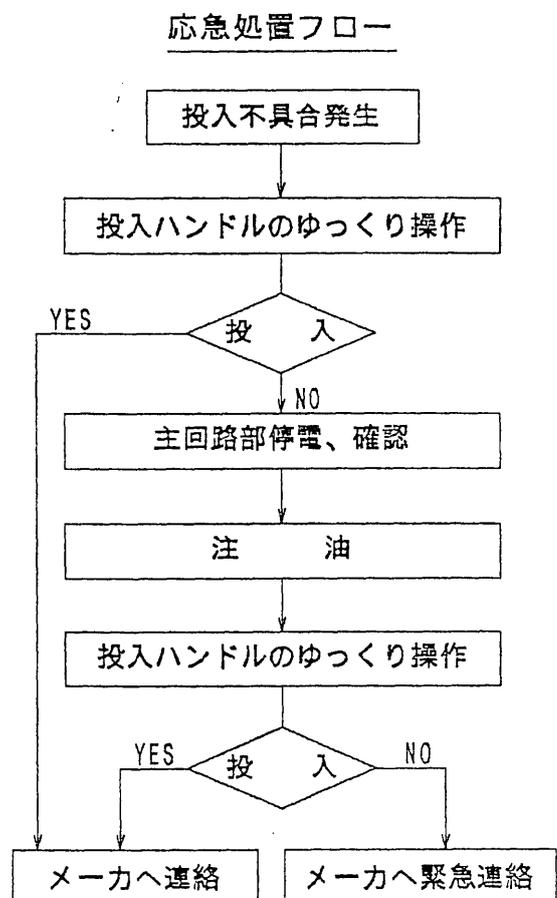
図1の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

## 2-2 P, N, 引出しタイプ

操作機構カバーを外し、図2の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

## 3. メーカーへの連絡

上記の応急処置を行った場合は、その結果の如何にかかわらず、メーカーへご連絡下さい。



上部カバーを外して **イ** 方向より見た図

VCB “開放状態”

こちらが盤パネル側

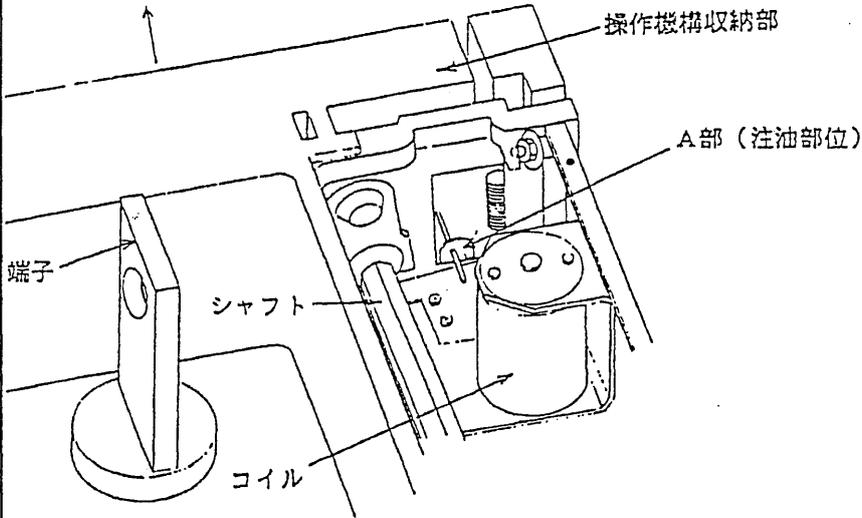
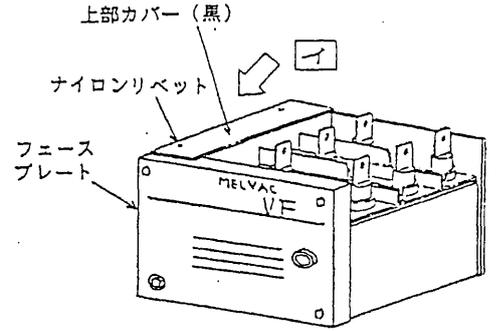


図-1



VF-8/13RM-A形外観

【注油要領】

- (1) 上部カバーの取り外し。
- (1)-1 ナイロンリベット (2ヶ所) を外す。
- (2)-2 上部カバーを外す。
- (2) 操作機構部の A部穴より下方向へ向って注油する。

VCB “開放状態”

※注油箇所

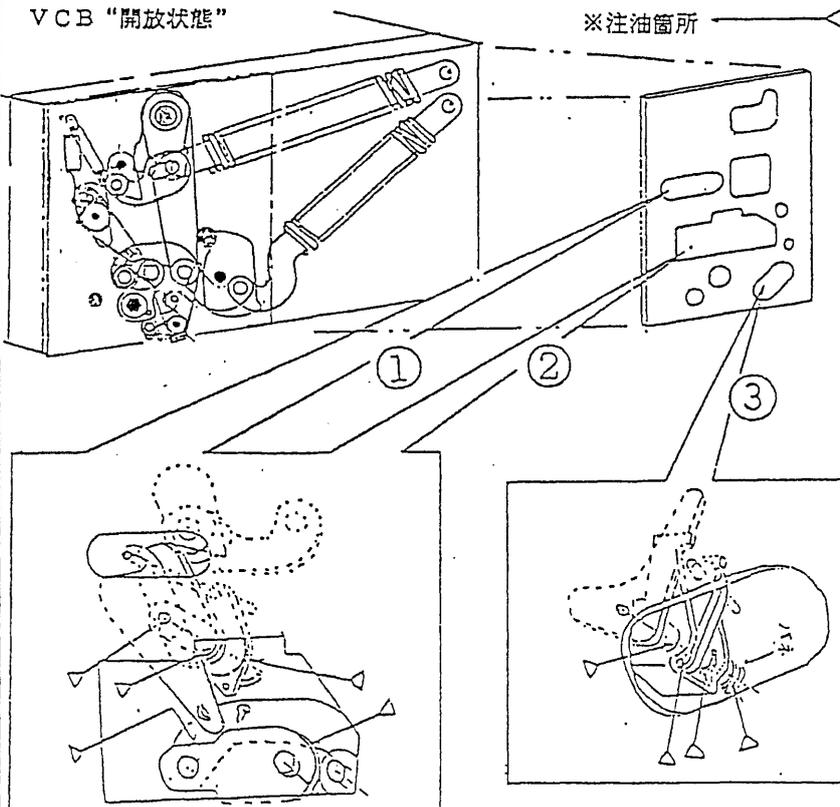
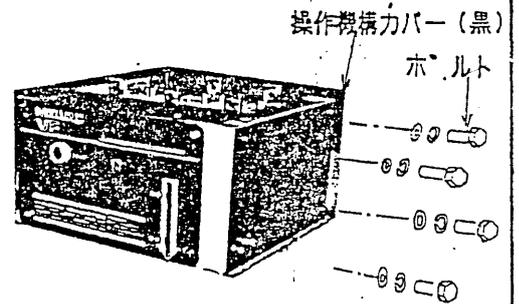


図-2



VF-8/13NM-A形外観

【注油要領】

- (1) 操作機構カバーを取外す。
- (1)-1 ボルト M8 (4ヶ所) を外す。
- (2)-2 操作機構カバーを外す
- (2) 操作機構部の ①～③の穴部に注油する。

お客様用

## VF-8/13□M-A形真空遮断器（VCB）投入動作不具合時の応急処置要領

VF-8/13A形VCBの投入動作ができない事象が発生した場合、その原因として油切れの可能性がります。この場合、下記の処置で投入可能となりますので、万一発生した際はこの要領に従ってください。

## 1. 投入ハンドルのゆっくり操作

投入ハンドルにて、手動でゆっくりとフェースプレートの表示に従って、投入方向へ操作してください。（いくらゆっくりと操作しても主接点の動作速度とは関係なく、問題ありません。）

なお電動タイプの場合は、付属品となっている手動操作ハンドルを差し込み、蓄勢位置から更に投入位置までゆっくりと操作してください。（投入できるまで、数回試みてください。）

## 2. 注油

上記1の操作でも投入できない場合は、

- (1) 主回路部の検電（停電の確認）
- (2) VCBを開極し、「切」状態を確認
- (3) 電動タイプの場合、制御電源を切って手動で「入」「切」操作を行い、ばね放勢の確認を行った上、次の要領で注油して下さい。

潤滑油は、  
弊社指定品：具工業株式会社のグリースメイト  
No. 1058、または応急的にお手持ちの  
マシン油をご使用ください。

## 2-1 Rタイプ

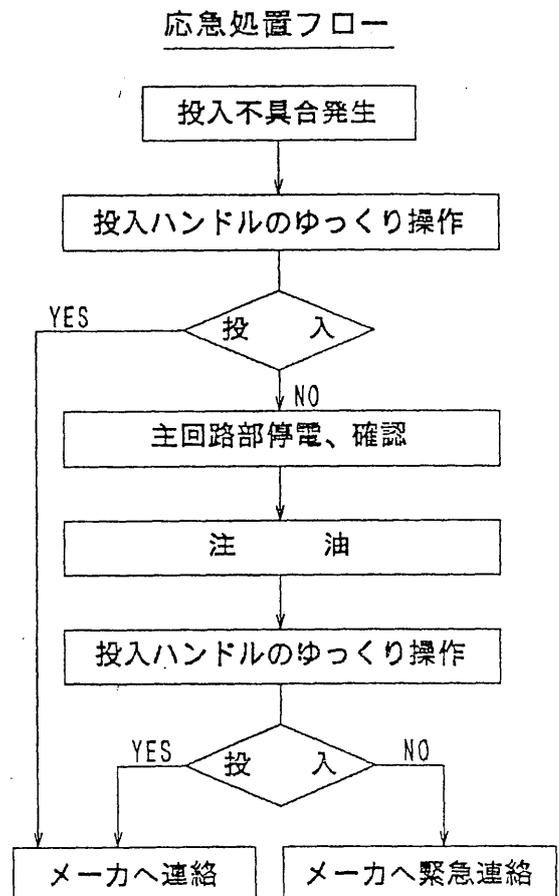
図1の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

## 2-2 P, N, 引出しタイプ

操作機構カバーを外し、図2の箇所に注油後、10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

## 3. メーカーへの連絡

上記の応急処置を行った場合は、その結果の如何にかかわらず、メーカーへご連絡下さい。



【注油要領】

- (1) 操作機構カバーを取外す。
- (1)-1 ボルトM8 (4ヶ所) を外す。
- (1)-2 操作機構カバーを外す。
- (2) 操作機構部の①～③の穴部に注油する。

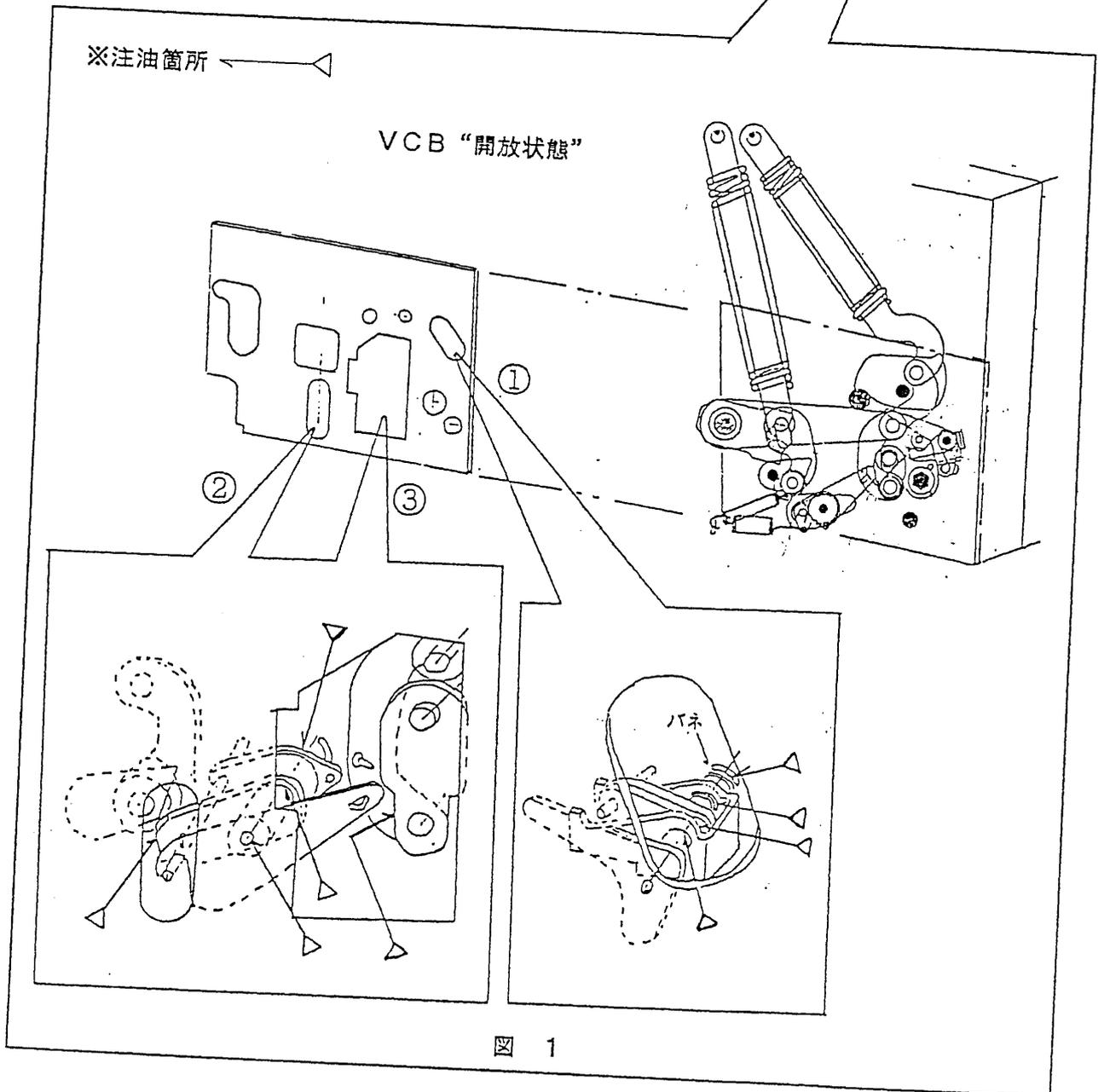
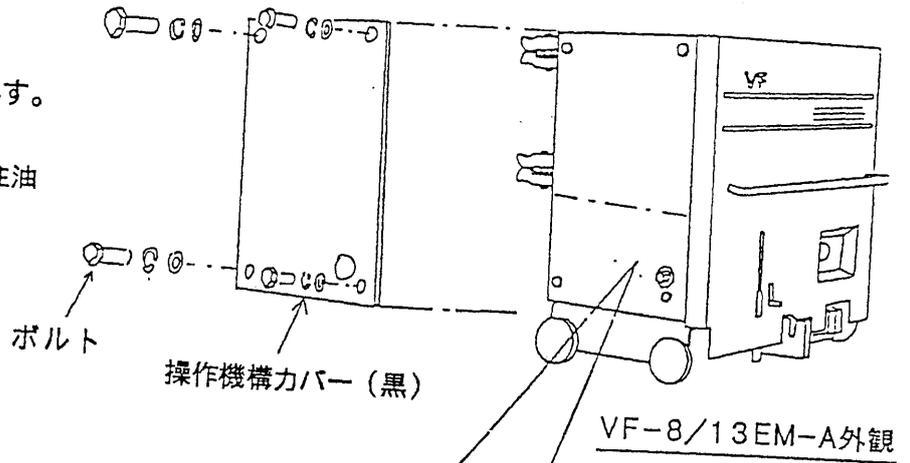


図 1

お客様用

## VF-8/13EM/FM-A形真空遮断器 (VCB) 投入動作不具合時の応急処置要領

VF-8/13A形VCBの投入動作ができない事象が発生した場合、その原因として油切れの可能性がありますが、この場合、下記の処置で投入可能となりますので、万一発生した際はこの要領に従ってください。

## 1. 投入ハンドルのゆっくり操作

付属品となっている手動投入ハンドルをハンドル挿入口に差し込み、蓄勢位置から更に投入位置までゆっくりと操作してください。  
(投入できるまで、数回試みてください。)

## 2. 注油

上記1の操作でも投入できない場合は、  
(1) 主回路部の検電（停電の確認）。  
(2) VCBトリップボタンを押し、「切」状態を確認。  
(3) 制御プラグを抜いた後、手動での「入」「切」操作を行い、ばね放勢の確認を行った上、次の要領で注油して下さい。

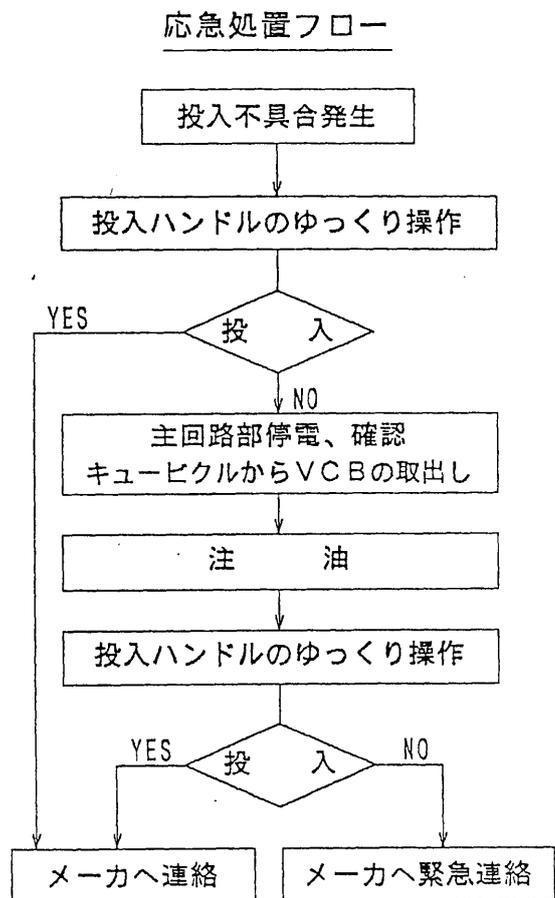
潤滑油は、  
弊社指定品：呉工業株式会社のグリースメイト  
No. 1058、または応急的にお手持ちの  
マシン油をご使用ください。

## 2-1 引出しタイプ

操作機構カバーを外し、図1の箇所注油後、  
10回程度の開閉動作を行い、油をにじませる。

## 3. メーカーへの連絡

上記の応急処置を行った場合は、その結果の如何にかかわらず、メーカーへご連絡下さい。



上部カバーを外して **イ** 方向より見た図

VCB “開放状態”

こちらが盤パネル側

操作機構収納部

A部（注油部位）

端子

シャフト

上部カバー（透明）

Pネジ

フェースプレート

VF-8/13RH形外観

【注油要領】

- (1) 上部カバーの取り外し。
- (1)-1 Pネジ（2ヶ所）を外す。
- (2)-2 上部カバーを外す。
- (2) 操作機構部のA部穴より下方向へ向って注油する。

図-1

VCB “開放状態”

操作機構カバー（黒）

ホルト

VF-8/13NH形外観

※注油箇所

【注油要領】

- (1) 操作機構カバーの取外し。
- (1)-1 ボルトM8（4ヶ所）を外す。
- (2)-2 操作機構カバーを外す
- (2) 操作機構部の①～③の穴部に注油する。

図-2